

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築(新築)2014年版、名古屋市建築環境配慮制度運用マニュアル2014 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2014(v.1.22)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大幸四丁目	階数	地上12F
建設地	名古屋市東区大幸四丁目1511番、	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	117 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2015年10月15日
敷地面積	550 m ²	作成者	
建築面積	293 m ²	確認日	2015年10月15日
延床面積	2,086 m ²	確認者	

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE0.4 ★☆☆☆☆

☆: S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

☆:100%超 ☆☆:100% ☆☆☆:80% ☆☆☆☆:60% ☆☆☆☆☆:30%

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.3

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 ・建設地の住環境を保持しつつ、居住者に快適な住まいの供給を目指す。		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 F☆☆☆☆の採用。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・近年の設備機器仕様が満たされるよう配慮している。	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・監視カメラの設置。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 品確法における等級3相当の断熱処理を行う。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される